

ガス給湯器 (BL 認定品)

取扱説明書

保証書付

型番	型式名	号数
133 - T030 型	GS - H2402W	24 号
133 - T032 型	GS - H2402T	
133 - T035 型	GS - H2400B	



この製品は、潜熱回収型(高効率)のガス代節約型ガス給湯器です。

このたびはガス給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくお使いください。この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

内容をよくご確認ください。この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご確認のうえ、型番をお知らせください。



大阪ガス

ご利用の前に	安全に正しくお使いいただくために	1
	この取扱説明書の表示について	1
	機器本体の表示について	1
	必ずお守りください	2
	各部の名称とはたらき	6
	機器本体	6
	湯量おしらせ機能付きリモコン	7
	オート止水機能付きリモコン	9
	ご利用前の準備	10
	機器の準備	10
使い方	お湯を使う(リモコンなしで使う)	10
	お湯を使用する	10
	お湯を使う(別売品のリモコンを使う)	11
	お湯を使用する	11
	優先を切り替える	12
	浴室リモコンを優先にする	12
	湯量おしらせ機能付きリモコン	
	浴槽にお湯張りをする	13
	湯量おしらせ機能を使ってお湯張りする	13
	湯量(お湯張り量)の設定	14
	オート止水機能付きリモコン	
	浴槽にお湯張りをする	15
	オート止水機能を使ってお湯張りする	15
	お湯張り温度・お湯張り量の設定	16
	音量を変更する	17
音量を変更する	17	
浴室から人を呼び	18	
呼び出し機能(呼び出しスイッチ)	18	
省電力機能の設定	19	
省電力機能の設定を変更する	19	
必要なとき	冬期の凍結予防をする	20
	再使用するとき	22
	凍結してしまったとき	22
	点検のポイント・お手入れのしかた	23
	点検のポイント(月1回程度)	23
	お手入れのしかた(月1回程度)	23
定期点検のおすすめ(有料)	23	
給水口フィルターのお手入れ	24	
点検・お手入れ後の確認	24	
困ったとき	故障かな?と思ったら	25
	アラーム表示について(リモコンに表示されます)	26
	アフターサービスについて	27
	冬期の入浴について	27
	「あんしん点検」のおすすめ	28
	仕様一覧	29
保証書	裏表紙	

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

製品を正しくお使いいただくためや、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お願い 安全・快適に使用していただくために、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX) 参照ページを示しています。

おふりに入れます リモコンから流れる音声を示しています。(音声は例です)

■機器本体の表示について

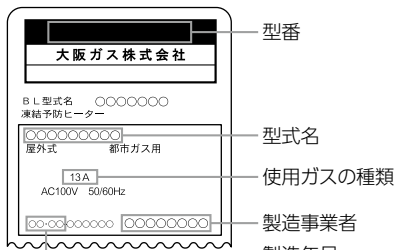
機器本体に記載してある製品の型番をご確認のうえ、取扱説明書をご覧ください。

①使用上の注意

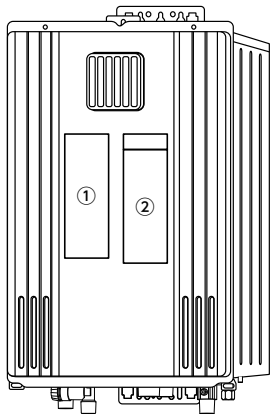
使用上の注意について表示しています。

②銘板

型番・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者などを表示しています。



製造年月
例 26・04 → 2026年4月の製造



(図は133-T030型を示します)

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記しています。この内容は必ずお読みください。

危険

屋内に設置しない(この機器は屋外用です)

●排気ガスが室内に充滿したり正常な給排気ができなかつたりするため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。



ガス漏れに気づいたときは

- ①すぐに使用をやめて、給湯栓をすべて閉める。
- ②ガス栓を閉める。
また、メーターのガス栓も閉める。
- ③お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



必ず行う

- すべての処置が終わるまでの間、絶対に
- ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの「入」/「切」をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺で電話を使用しない

炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。

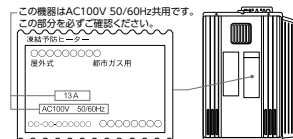


火気禁止

警告

機器の銘板を確認

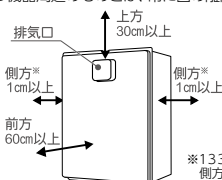
- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用する。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
- 転居・移設時には転居または機器を移設される場合(→P.27)を確認する。



必ず行う

火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺のものとは、常に図の離隔距離を確保する。



※133-T035型の離隔距離は、側方105cm以上になります。



必ず行う

- 機器および排気口の周辺には紙や木材・洗濯物など、燃えやすいものを置かない。火災の原因になります。



- 機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因になります。



- 機器の周辺や上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

増改築などで屋内状態にしない

- 設置後、機器や排気口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



必ず行う



必ず行う

ガス配管接続について

- この機器のガス配管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事の際には必ずお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

改造・分解禁止

- 絶対にお客さまご自身で、改造・分解は行わない。改造・分解は、思わぬ事故や故障・火災の原因になります。



分解禁止

必ずお守りください

警告

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。
 - ・お湯を再使用する時
 - ・給水温度が高いとき
 - ・給水圧が下がったとき
 - ・お湯の量を急に少なすぎたとき
 - ・機器が故障したとき
- 入浴するときは、手でお湯の温度を確認する。
- 給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。



必ず行う



高温注意

- 使い始めは正常でも、使用中に熱くなることがあるため、熱いお湯が出た場合はすぐに使用を中止する。このような状態が続くときは機器の故障の可能性があるので、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
- シャワー・給湯使用中に、使用者以外がリモコンの温度を変更したり、運転スイッチを「OFF」にしたり、「優先」を切り替えたりしない。
- 浴槽のふたの上に乗ったり、手をついたりしない。



必ず行う



禁止

熱と思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。

このような場合は使用しない

- 増改築や家の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで排気口を覆うことがあります。このような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒、異常点火の原因になります。



禁止

異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時は、以下の手順に従う。
 - ①給湯栓を閉める。
 - ②運転スイッチを「OFF」にする。
 - ③ガス栓・給水元栓を閉める。



必ず行う

- 給湯栓を開けても点火しない場合や使用中でも火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合は、以下の手順に従う。
 - ①ただちに使用を中止してガス栓を閉める。
 - ②お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



必ず行う

機器本体やガス配管の接続部など無理な力を加えない

- 機器本体やガス配管の接続部などに乗ったりして、無理な力を加えない。けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

ソーラー機器接続禁止

- ソーラー機器(太陽熱温水器)とは絶対に接続しない。ソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器が故障する原因になります。



禁止

外付け装置による遠隔操作厳禁

- スマートフォン、IT 機器を使ってリモコンの各スイッチを操作する外付け装置[※]は、安全性を確認できないため使用しない。
[※]運転スイッチを含む操作スイッチ付近に設置し、インターネット通信などを介して各スイッチを「ON」/「OFF」できる装置。



禁止

電源コードの加工禁止

- 電源コードを切断したり加工したりしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。



禁止

電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



必ず行う

許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方、たご定配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



禁止

アース必要

- この機器は接地工事(アース)が必要なため、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



必ず行う

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

- ほこりがたまるとう、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



必ず行う

電源プラグを抜くときの注意

- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。



必ず行う



感電注意 ぬれ手禁止

必ずお守りください

注意

配管カバー(または据置台)について

- 配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーを取り付け、化粧ねじを確実に締め付ける。(→P.24)



必ず行う

排気口について

- 排気口に指や棒を入れない。故障やけがの原因になります。



禁止

用途について

- 一般家庭での通常の給湯用途(台所・シャワー・洗面・浴槽へのお湯張りなど)以外には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。



禁止

機器本体の高温部に触らない

- 使用中または使用後しばらくは、排気口付近に触らない。やけどのおそれがあります。



接触禁止

お子さまには十分な注意

- 浴槽のお湯(水)に潜ったり、浴室で遊ばせたりしない。
- 子供だけが入浴させたり、お湯を使わせたりしない。
- 子供を機器の周囲や直下で遊ばせない。

思わぬ事故につながる可能性があります。

※特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。



禁止

ドレン排出口から排出される水について

- ドレン排出配管から排出される水を飲料用・飼育用などに使用したり、触ったりしない。ドレン水に触ってしまった場合は、念のため水道水で洗い流してください。



禁止

機器の取り替えと乾電池に関する注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する。もし、お客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理を行う。



必ず行う

お願い

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると、機器の寿命を著しく短めます。この場合の修理費は保証期間内でも有料となります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外には使用しないでください。

飲用や調理用にお使いのとき

- 機器内に長時間たまった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯など)は、飲用や調理用には使用しないで雑用水としてお使いください。

リモコンの扱いについて

- リモコンはお子さまがいたずらしないよう、注意してください。

通水使用の禁止

- リモコンの運転スイッチを「OFF」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びたりしないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くする原因になる場合があります。(冬期の凍結予防を除く)

電源プラグを抜かない

- お手入れや水抜き(凍結予防・長期不在時)を行うとき、または突発的な自然災害(雷など)以外は、電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が降り始めたら速やかに使用を中止し、感電に注意して電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを「切」にしてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



感電注意

感電注意

ぬれ手禁止

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉めてください。
- 復電後は、リモコンの設定(給湯温度・湯量など)を行い、表示を確認してからお使いください。

必ずお守りください

お願い

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼ランプ[赤]で確認してください。

地下水や温泉水、井戸水では使用しない

- この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

断水のとき

- 給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを「OFF」にしてください。
- 断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が給水配管内にとどまることがあります。

日常の点検・お手入れ

- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により青く着色することがあります。日々、浴室や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)などでふき取ってください。
- この機器は熱効率が高いため機器の使用中はドレン水が排出されます。ドレン排出配管の先端からドレン水が排出されているか確認してください。ゴミなどでふさがれている場合は掃除を行ってください。

積雪時の閉塞について

- 積雪時は給気口・排気口の点検、除雪を行い、積雪や屋根から落ちた雪により給気口・排気口がふさがれないように注意してください。故障の原因になります。

設置する場所や状況について

お願い

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼・燃焼ファン)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使ったりしなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 扉などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

排気ガス

- 増改築時には、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに、当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。
- この機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。これは水蒸気であり、故障ではありません。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因になります。

ほこり

- 砂・油煙・綿ほこり・ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼ファンの性能を低下させたりして、不完全燃焼の原因になります。

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

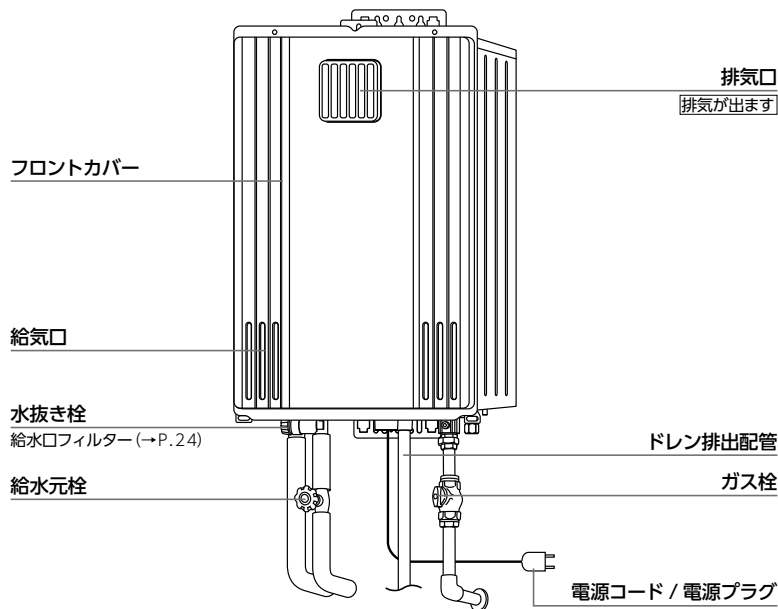
塩ビ管の使用について

- 給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きによって塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出すなど、多量の水漏れの原因になります。(ただし、ドレン排出配管は除きます)

各部の名称とはたらき

■機器本体

(図は133-T030型を示します)



【湯量おしらせ機能付きリモコン】

オート止水機能付きリモコンとは併用できません。

台所リモコン **別売品**
(138-T012型)

浴室リモコン **別売品**
(138-T013型)

増設リモコン **別売品**
(138-T055型)

【オート止水機能付きリモコン】

湯量おしらせ機能付きリモコンとは併用できません。

台所リモコン **別売品**
(138-T010型)

浴室リモコン **別売品**
(138-T011型)

各部の名称とはたらき

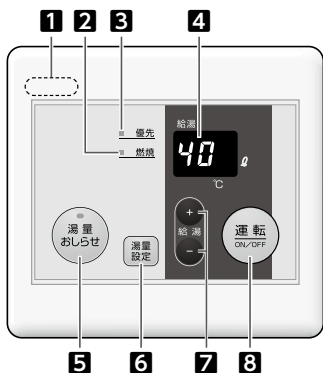
■湯量おしらせ機能付きリモコン

湯量おしらせ機能が使用できます。

※オート止水機能付きリモコンとは併用できません。

台所リモコン：138-T012型

※防水タイプではありません。



1 リモコン型番

リモコンによって機能が異なります。

型番をご確認のうえ、取扱説明書をご覧ください。

2 燃焼ランプ[赤]

給湯燃焼中に点灯します。

3 優先ランプ[緑]

点灯しているリモコンで、給湯温度の変更ができます。(→P.12)

4 給湯温度表示

通常は、給湯の設定温度を表示します。(→P.11)

湯量設定時には、お湯張り量を表示します。

(→P.14)

省電力待機中には右図の表示部分で点灯と消灯を繰り返します。(→P.19)



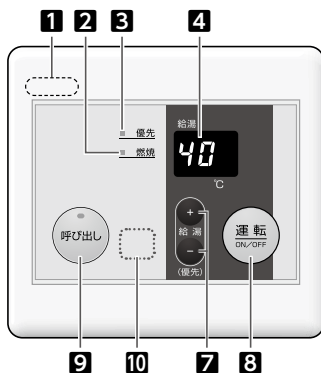
5 湯量おしらせスイッチ / ランプ[緑]

浴槽にお湯張りをするときを押します。

設定した湯量になるとブザーでお知らせします。(→P.13)

湯量おしらせランプは、湯量おしらせスイッチが「入」のときに点灯します

浴室リモコン：138-T013型



6 湯量設定スイッチ

お湯張り量を設定するときを押します。(→P.14)
また約5秒長押しすると、省電力機能の解除・設定ができます。(→P.19)

7 給湯温度スイッチ

給湯温度・お湯張り量を変更するときを使用します。

浴室リモコンでは、浴室リモコンを優先に切り替えることもできます。(→P.12)

8 運転スイッチ

運転の[ON] / [OFF]をするときを押します。

9 呼び出しスイッチ / ランプ[緑]

台所・増設リモコンを取り付けている場合は、呼び出しスイッチを押すと台所・増設リモコンで呼び出し音(ブザー)が鳴ります。(→P.18)

呼び出しランプは呼び出しスイッチを押すと点灯し、スイッチを離すと約5秒間点滅します。

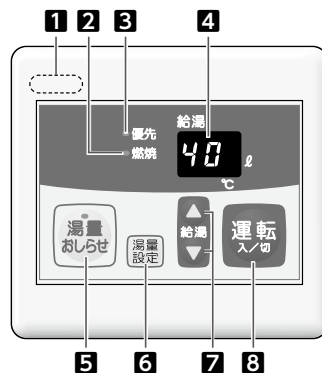
10 省電力機能の解除・設定

スイッチの表示はありませんが、約5秒長押しすると、省電力機能の解除・設定ができます。(→P.19)

各部の名称とはたらき

増設リモコン：138-T055型

※防水タイプではありません。



各部の名称とはたらき

■オート止水機能付きリモコン

オート止水(お湯張り)機能が使用できます。
*湯量おしらせ機能付きリモコンとは併用できません。

台所リモコン: 138-T010型

*防水タイプではありません。



1 リモコン型番

リモコンによって機能が異なります。
型番をご確認のうえ、取扱説明書をご覧ください。

2 燃焼ランプ[赤]

給湯燃焼中に点灯します。

3 優先ランプ[緑]

点灯しているリモコンで、給湯温度の変更ができます。(→P.12)

4 給湯温度表示

通常は、給湯の設定温度を表示します。(→P.11)
設定変更時には、お湯張り温度・お湯張り量・音量を表示します。(→P.14~17)
省電力待機中には右図の表示部分で点灯と消灯を繰り返します。(→P.19)

5 お湯張り温度変更表示

点灯しているときに、お湯張り温度の変更ができます。(→P.16)

6 お湯張り量変更表示

点灯しているときに、お湯張り量の変更ができます。(→P.16)

7 音量変更表示

点灯しているときに、音量の変更ができます。(→P.17)

浴室リモコン: 138-T011型



8 スピーカー

9 お湯張りスイッチ / ランプ[緑]

浴槽にお湯張りをするときを押します。
お湯張りスイッチを「入」にすると、設定した湯量までお湯張りし、出湯を停止して音声でお知らせします。(→P.15)

お湯張りランプは、お湯張りスイッチが「入」のときに点灯します。

10 設定スイッチ

お湯張り温度・お湯張り量・音量を設定するときを押します。(→P.14~17)
また約5秒長押しすると、省電力機能の解除・設定ができます。(→P.19)

11 給湯温度スイッチ

給湯温度・お湯張り温度・お湯張り量・音量を変更するときを使用します。
浴室リモコンでは、浴室リモコンを優先に切り替えることもできます。(→P.12)

12 運転スイッチ

運転の[ON] / [OFF]をするときに押します。

13 呼び出しスイッチ

台所リモコンを取り付けている場合は、呼び出しスイッチを押すと台所リモコンでチャイムと音声流れます。(→P.18)

ご利用前の準備

■機器の準備

はじめてお使いになるときは、まず機器の準備をします。

1 機器や機器周辺の点検・確認を行う

■点検のポイント(→P.23)をご覧ください。

2 給水元栓を全開にする

機器の下部にあります。



3 給湯栓を開ける

水が出ることを確認したら閉めます。

レバーをお湯側にして開ける



4 ガス栓を全開にする

機器の下部にあります。



5 電源プラグを差し込む、または分電盤のブレーカーを「入」にする

コンセントは機器周辺にあります。



お湯を使う(リモコンなしで使う)

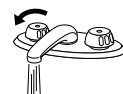
■お湯を使用する

給湯栓を開けるとお湯が出ます。お湯の温度は約60℃の高温(一定)になります。必ず混合水栓をお使いください。

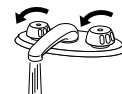
警告 ●シャワー・給湯などを使うときは、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。また、いつまでも湯温が安定しない場合は、機器の故障が考えられます。故障かな?と思ったら(→P.25)をご確認ください。

お湯を出す

給湯栓を開ける



給水栓を開け、湯温を調節する



お湯を止める

給湯栓・給水栓を閉める



お願い

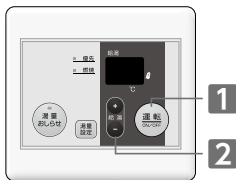
- やけど防止のため、サーモスタット式混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

お湯を使う(別売品のリモコンを使う)

■お湯を使用する

給湯栓を開けるとお湯が出ます。リモコンの給湯温度を確かめてから、ご使用ください。

※リモコンの図・操作説明は、138-T012型を示します。
138-T013型/T055型/T010型/T011型も、操作方法は同じです。



警告

- シャワー・給湯などを使うときは、リモコンに表示の給湯温度を確認し、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。また、いつまでも湯温が安定しない場合は、機器の故障が考えられます。**故障かな?と思ったら(→P.25)をご確認ください。**
- シャワー・給湯使用中は使用者以外、給湯温度の変更や優先の切り替え・運転スイッチを「OFF」にしない。シャワーの温度が急変し、危険です。特にシャワー使用時は、**必ず浴室リモコンを優先(→P.12)にして、リモコンに表示の給湯温度を確認してから使用してください。**

1 運転 ON/OFF を「ON」にする



給湯温度を表示し、優先ランプ[緑]が点灯します。

【給湯温度を変更する場合】

2 給湯温度を変更する



➕は温度が上がります。
➖は温度が下がります。

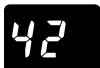
※給湯温度スイッチは1回ずつ押してください。長押ししても温度は変わりません。
※給湯温度が変更できない場合は、**給湯温度が変更できないときは(→P.12)をご確認ください。**

給湯温度の目安(単位: °C) 40:工場出荷時

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	50	55	60
食器洗いなど	シャワー・給湯など						給湯など			高温			

お湯を出す

給湯栓を開ける



お湯を出している間は、すべてのリモコンの燃焼ランプ[赤]が点灯します。

お湯を止める

給湯栓を閉める



お湯を止めると、すべてのリモコンの燃焼ランプ[赤]が点灯します。
※他の給湯栓が使用中のときは消灯しません。

お知らせ

- リモコンに表示の給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや気温などにより必ずしも一致しません。リモコンに表示の給湯温度は目安としてお考えください。
- 夏場など水温が高い場合、「食器洗いなど」の目安とされる給湯温度に設定しても、リモコンに表示の給湯温度より高い湯温となることがあります。必要に応じて水を混ぜ、湯温を確認してからお使いください。
- お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓閉め忘れ確認のためアラーム番号「011」を表示し、燃焼が止まり水になります。その場合は給湯栓を閉め、運転スイッチを「OFF」にし、5秒以上経過後「ON」にしてからお使いください。
- オート止水機能付きリモコンをお使いの場合、給湯温度を50°C以上に設定するとチャイムが鳴り、「熱い温度にセットされました 注意してください」と警告音声が流れます。
- 設定した給湯温度は、運転スイッチを「OFF」にしたリ、停電などで通電が止まったりしたあとでも記憶されます。

お湯を使う(別売品のリモコンを使う)

お願い

- 55°C以下の温度で給湯・シャワーを使用しているときは、やけど防止のため60°Cには設定変更ができません。変更する場合は、一度給湯を止めてから行ってください。
- やけど防止のため、サーモスタット式混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

★メモ

- 給湯使用中でも、優先ランプ[緑]が点灯しているリモコンでは温度の変更ができます。
- 設定した給湯温度は運転スイッチを「OFF」にしても記憶していますが、給湯温度を60°C以上に設定した場合はやけどなどの危険防止のため、再度運転スイッチを「ON」にしたとき自動的に55°Cに設定されます。
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をお使いの場合、混合水栓の機種や構造により、温度調節ハンドルの示す温度よりぬるいお湯が出ることがあります。このような場合は、リモコンの設定温度をご希望の湯温になるよう高めに設定してください。

□給湯温度が変更できないときは

給湯温度を変更するには、操作するリモコンに優先ランプ[緑]の点灯が必要です。

給湯温度スイッチを操作しても給湯温度の変更ができない場合は、リモコンの優先ランプ[緑]が点灯しているか確認してください。点灯していない場合は以下の**優先を切り替える**または**浴室リモコンを優先にする**をご覧ください。

優先とは

給湯温度の変更ができることを「優先」と呼び、給湯温度が変更できるリモコンには、優先ランプ[緑]が点灯しています。

台所・浴室・洗面所など、機器からお湯を供給されている給湯栓からは、常に同じ温度のお湯が出ます。そのため、お湯を使用中に使用者以外が給湯温度を変更すると、出ているお湯の温度が変わり、使用者がやけどをしたり、思わぬ事故の原因になったりします。このような事故などを防ぐために、優先ランプ[緑]が点灯しているリモコンのみが給湯温度を変えられるようになっています。優先ランプ[緑]は、**運転スイッチを「ON」にしたリモコンに点灯します。**

★メモ

- 台所リモコン(138-T010型)で優先ランプ[緑]が点灯していないときに給湯温度スイッチを押すと、「**運転スイッチを入れ直してください**」とお知らせします。

■優先を切り替える

優先ランプ[緑]は、**運転スイッチを「ON」にしたリモコンに点灯します。**
※すべてのリモコンで、同じ操作方法より優先にすることができます。



一度「OFF」にし、


再度「ON」にする



①ほかでお湯が使われていないことを確認のうえ、行ってください。
運転スイッチを「ON」にしたリモコンで記憶していた給湯温度を表示し、優先ランプ[緑]が点灯します。

■浴室リモコンを優先にする

浴室リモコンは、給湯温度スイッチを押して、優先にすることもできます。

浴室リモコンの  を押す



浴室リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、優先ランプ[緑]が点灯します。

★メモ

- 優先を切り替えたときは、55°Cより高い設定温度にはなりません。優先を切り替える前の給湯温度が60°Cだった場合、自動的に55°Cに設定されます。
- オート止水機能付きリモコンをお使いの場合、優先切り替え後の給湯温度が50°C以上の場合には「**熱い温度にセットされました 注意してください**」と警告音声が流れます。
- 増設リモコン(138-T055型)を設置している場合、台所リモコンと増設リモコンは連動しています。台所リモコンの運転スイッチを「ON」にすると、台所リモコンと増設リモコンの優先ランプ[緑]が点灯し、増設リモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

浴槽にお湯張りをする

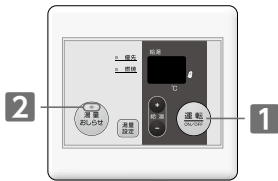
湯量おしらせ機能付きリモコン

台所リモコン(138-T012型)・増設リモコン(138-T055型)をご使用の場合

■湯量おしらせ機能を使ってお湯張りをする

湯量おしらせ機能を使ってお湯張りします。
※リモコンの図・操作説明は、138-T012型を示します。
138-T055型も、操作方法は同じです。

湯量おしらせ機能とは
設定した湯量(→P.14)になると、台所リモコンのブザーが約10秒間鳴り、お湯張りが完了したことをお知らせします。
お湯は自動には止まりませんので、給湯栓を閉めてください。
※湯量おしらせ機能を使用しない場合は、湯量おしらせスイッチを押してランプを消灯させてください。

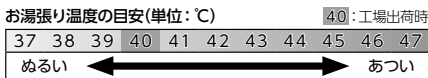


警告 ●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯加減を手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

1 **運転**を「ON」にする



給湯温度を表示します。
お湯張り温度(給湯温度)を変更するには、給湯温度スイッチを押します。



2 湯量おしらせランプ[緑]の点灯を確認する
浴槽の排水栓を閉め、給湯栓を開ける



燃焼ランプ[赤]が点灯します。
※湯量おしらせランプ[緑]が消灯している場合は、湯量おしらせスイッチを押します。

3 ブザーが鳴り、湯量おしらせランプ[緑]が点滅したら給湯栓を閉める



燃焼ランプ[赤]が消灯します。
※湯量おしらせ機能を解除する場合は、湯量おしらせスイッチを押します。

お湯張り停止 給湯栓を閉める

停電時には 給湯栓を閉める

給湯栓からのお湯が水になり、止まりません。
復電後の状況により、お湯張りをやり直してください。

お願い

- 湯量おしらせ機能を使うときは、給湯栓のみを開け、水を混ぜないようにお湯張りしてください。
- 湯量おしらせ機能を使用したお湯張り中に、台所など他の場所でお湯を使うと、他で使った量だけ浴槽へのお湯張り量が減りますのでご注意ください。(例:湯量を180ℓに設定した場合、台所で30ℓのお湯を使うと、浴槽に150ℓ入れたところでブザーが鳴ります。)
- 湯量おしらせ機能を使用したお湯張り中、お湯張り完了のブザーが鳴る前に次のことを行った場合、湯量カウンタが初めから行われ浴槽からあふれることがありますのでご注意ください。
①一度すべての給湯栓を閉めたあと、再度給湯栓を開けて続けてお湯張りを行ったとき。
②運転スイッチを一度[OFF]にして、再度[ON]にしたとき。
- お湯張り中に優先を切り替えるとお湯の温度が変わります。お湯張り中には優先を切り替えしないでください。

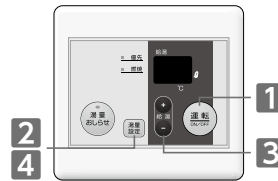
浴槽にお湯張りをする

湯量おしらせ機能付きリモコン

台所リモコン(138-T012型)・増設リモコン(138-T055型)をご使用の場合

■湯量(お湯張り量)の設定

湯量(お湯張り量)の設定を変更します。
※リモコンの図・操作説明は、138-T012型を示します。
138-T055型も、操作方法は同じです。



1 **運転**を「ON」にする



給湯温度を表示します。

2 **湯量設定**を押す



湯量が点滅します。
※工場出荷時は「180ℓ」に設定されています。
※上位2桁を使用して表示します。
例)180ℓ ⇒ **18**

3 **+** / **-** で湯量を変更する



➕は湯量が増えます。
➖は湯量が減ります。
※湯量の変更は、表示が点滅している間に行ってください。

湯量(お湯張り量)の目安(ℓ)

18:工場出荷時

リモコン表示	5	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	40	50
湯量(ℓ)	50	120	140	160	180	200	220	240	260	280	300	320	340	360	400	500

4 **湯量設定**を押す



設定を終了し、給湯温度を表示します。
※湯量設定スイッチを押さなくても、約5秒経過すると設定を完了し、給湯温度を表示します。

お願い

- 浴槽の種類によっては、湯量を多めに設定すると浴槽からお湯があふれる場合があります。最初は工場出荷時の180ℓでお湯張りし、実際の湯量を確認してからお好みの湯量に変更することをおすすめします。
- 設定した湯量(お湯張り量)は、運転スイッチを[OFF]にしたり、停電などで通電が止まったりしたあとでも記憶されます。

※メモ

- サーモスタット式混合水栓をお使いの場合は、水栓の設定温度をリモコンの設定温度より高くしてお湯張りを行ってください。設定温度が低いと水が混合されて設定湯量より多くお湯張りしますので、浴槽からお湯があふれることがあります。また、お湯張り終了後は、サーモスタット式混合水栓の設定温度を常時使用している温度に戻してください。

浴槽にお湯張りをする | 湯量おしらせ機能を使ってお湯張りをする | 湯量(お湯張り量)の設定

浴槽にお湯張りをする

オート止水機能付きリモコン

台所リモコン(138-T010型)・浴室リモコン(138-T011型)をご使用の場合

■オート止水機能を使ってお湯張りをする

オート止水機能を使って、あらかじめ設定したお湯張り量・お湯張り温度(→P.16)に合わせてお湯張りします。

※リモコンの図・操作説明は、138-T010型を示します。
138-T011型も、操作方法は同じです。

オート止水機能とは

設定したお湯張り量(→P.16)になると、**自動的に出湯を停止**します。
お湯張りが完了すると、台所・浴室リモコンの両方からチャイムと音声ガイドでお知らせします。



警告

●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯加減を手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

1 **運転**を「ON」にする



給湯温度を表示します。

2 **お湯張り**を押す

- 優先
- 燃焼



お湯張りランプ[緑]が点灯し、お湯張り温度を表示します。

お湯張りを始めます
おふろの栓をしてから蛇口を開けてください

3 浴槽の排水栓を閉め、給湯栓(蛇口)を開ける

- 優先
- 燃焼



燃焼ランプ[赤]が点灯します。

設定したお湯張り量になると、自動的にお湯が止まります。

- 優先
- 燃焼



おふろに入れます
蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください

お湯張りランプ[緑]が点滅し、燃焼ランプ[赤]が消灯します。

4 給湯栓(蛇口)を閉めてから、**お湯張り**を押す



お湯張りランプ[緑]が消灯し、給湯温度を表示します。

お湯張り停止

給湯栓(蛇口)を閉めてから、**お湯張り**を押す

停電時には

給湯栓(蛇口)を閉める

給湯栓(蛇口)からのお湯が水になります。オート止水機能もはたさません。復電後の状況により浴槽を空にして、お湯張りをやり直してください。

お願い

- オート止水機能を使うときは、給湯栓のみを開け、水を混ぜないようにお湯張りしてください。
- オート止水機能を使用したお湯張り中に、台所など他の場所でお湯を使うと、他で使った量だけ浴槽へのお湯張り量が減りますのでご注意ください。(例：湯量を180ℓに設定したとき、台所で30ℓのお湯を使うと、浴槽に150ℓ入れたところでチャイムと音声ガイドでお知らせします。)
- お湯張り中には優先の切り替え、給湯温度の変更ができません。警告音が鳴り、「お湯張りをしています」とお知らせして操作を受け付けません。
- お湯張り終了後は速やかに給湯栓を閉め、お湯張りスイッチを押してください。特に、サーモスタット式混合水栓をお使いの場合、給湯栓の機種や構造により、「高(温)」や「H」の位置でもお湯張り完了後に多少の水が流れて、湯温の低下やあふれの原因になります。
- お湯張り終了後は、お湯張り終了の操作をするまで他の給湯栓を開けてもお湯は出ません。速やかに給湯栓を閉め、お湯張りスイッチを押してください。
- お湯張り終了後に給湯栓を閉めないままお湯張りスイッチを押すと、給湯栓を閉めるまで1分間隔でチャイムが鳴り「蛇口が開いています 蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください」と音声ガイドが流れます。また、給湯栓が開められたかを機器が確認するため、給湯栓から水(配管内の湯)が出ます。そのまま10分以上給湯栓が開められないと、リモコンに「CL」を点滅表示します。給湯栓から水が出なくなり、チャイム・音声ガイドも流れません。給湯栓を閉めてからお湯張りスイッチを押して、「CL」のアラームを解除してください。(→P.26)

浴槽にお湯張りをする

オート止水機能付きリモコン

台所リモコン(138-T010型)・浴室リモコン(138-T011型)をご使用の場合

■お湯張り温度・お湯張り量の設定

お湯張り温度・お湯張り量の設定を変更します。

※リモコンの図・操作説明は、138-T010型を示します。
138-T011型も、操作方法は同じです。



1 **運転**を「ON」にする



給湯温度を表示します。

2 **設定**を押す



お湯張り温度変更表示が点灯し、お湯張り温度が点滅します。
※工場出荷時は「40℃」に設定されています。

3 **温度**でお湯張り温度を変更する



●はお湯張り温度が上がります。
○はお湯張り温度が下がります。
※お湯張り温度が点滅している間に、変更操作を行ってください。
※続けてお湯張り量を設定する場合は、お湯張り温度が点滅している間に、4の操作をします。

お湯張り温度の目安(単位:℃)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
ぬるい										あつい

4 **設定**を押す



お湯張り量変更表示が点灯し、お湯張り量が点滅します。
※工場出荷時は「180ℓ」に設定されています。
※上位2桁を使用して表示します。
例)180ℓ ⇒ **18**

5 **温度**でお湯張り量を変更する



●はお湯張り量が増えます。
○はお湯張り量が減ります。
※お湯張り量が点滅している間に、変更操作を行ってください。
※しばらく押し操作がないと、設定を完了し給湯温度を表示します。

湯量(お湯張り量)の目安(ℓ)

リモコン表示	5	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	40	50
湯量(ℓ)	50	120	140	160	180	200	220	240	260	280	300	320	340	360	400	500

お願い

- 浴槽の種類によっては、お湯張り量を多めに設定すると浴槽からお湯があふれる場合があります。設定温度が低いと水が混合されて設定湯量より多くお湯張りしますので、浴槽からお湯があふれることがあります。また、お湯張り終了後は、サーモスタット式混合水栓の設定温度を常時使用している温度に戻してください。
- 設定スイッチを常に押ししてお湯張り温度「お湯張り量」「音量」と続けて設定することもできます。
- お湯張り中でも、お湯張り温度・お湯張り量を変更することができます。

★メモ

- サーモスタット式混合水栓をお使いの場合は、水栓の設定温度をリモコンの設定温度より高くしてお湯張りを行ってください。設定温度が低いと水が混合されて設定湯量より多くお湯張りしますので、浴槽からお湯があふれることがあります。また、お湯張り終了後は、サーモスタット式混合水栓の設定温度を常時使用している温度に戻してください。
- 設定スイッチを常に押ししてお湯張り温度「お湯張り量」「音量」と続けて設定することもできます。
- お湯張り中でも、お湯張り温度・お湯張り量を変更することができます。

浴槽にお湯張りをする。オート止水機能を使ってお湯張りをする。お湯張り温度・お湯張り量の設定

音量を変更する

オート止水機能付きリモコン

台所リモコン(138-T010型)・浴室リモコン(138-T011型)をご使用の場合

■音量を変更する

オート止水機能付きリモコンには、チャイムと音声ガイドによるお知らせ機能が付いています。このお知らせ機能の音量を変更します。

音量は、リモコン別に変更できます。

※リモコンの図・操作説明は、138-T010型を示します。

138-T011型も、操作方法は同じです。



1 運転 [ON/OFF] を「ON」にする



給湯温度を表示します。

2 音量変更表示が点灯するまで 設定 を押す



音量変更表示が点灯し、音量が点滅します。
※工場出荷時は「3」に設定されています。

3 音量変更ボタン で音量を変更する



⊕ は音量が大きくなります。
⊖ は音量が小さくなります。
※音量が点滅している間に、変更操作を行ってください。
※しばらく押し操作がないと、設定を完了し給湯温度を表示します。

音量の目安

3 : 工場出荷時

音量	3	2	1	0
チャイム・音声	大	中	小	無音
警告音声・呼び出し音声	大	中	小	小

※モロ

- 設定した音量は、運転スイッチを「OFF」にした時、停電などで通電が止まった時とでも記憶されます。
- 音量を「0」に設定すると音声ガイドは流れません。
ただし、警告音声や呼び出しスイッチが押されたときの呼び出し音声は、音量「1」で流れます。
- スイッチ操作の音量は「3」です。音量の変更はできません。

浴室から人を呼ぶ

浴室リモコン(138-T013型)・浴室リモコン(138-T011型)をご使用の場合

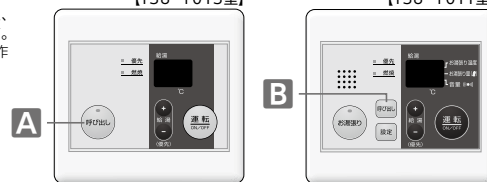
■呼び出し機能(呼び出しスイッチ)

浴室リモコンの呼び出しスイッチを押すと、台所リモコンから音や音声でお知らせします。

※運転スイッチの「ON」/「OFF」に関係なく、操作できます。

[138-T013型]

[138-T011型]



138-T013型

A 呼び出し を押す



呼び出しランプ[緑]が、約5秒間点滅します。
台所・増設リモコンでは、呼び出し音でお知らせします。

138-T011型

B 呼び出し を押す

浴室リモコンでは、呼び出しスイッチを押している間チャイムが鳴ります。

【台所リモコン: 138-T010型】



台所リモコンでは、チャイムと音声でお知らせします。

お風呂で呼んでいます

※モロ

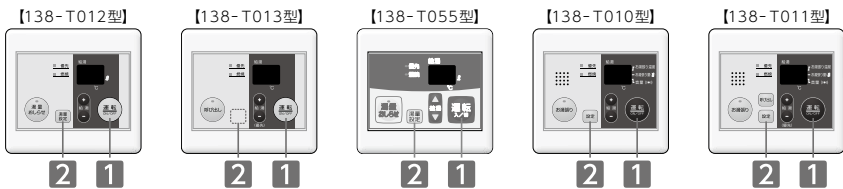
- 運転スイッチの「ON」/「OFF」に関係なく操作できます。
- インターホン機能は付いていません。
- 浴室リモコンのみ取り付けられている場合は、呼び出し機能(呼び出しスイッチ)が使えません。

浴室から人を呼ぶ機能(呼び出しスイッチ)

省電力機能の設定

■省電力機能の設定を変更する

5分以上お湯の使用やリモコン操作がないときに、リモコンの画面表示を消して電力の節約をします。



□省電力機能を解除する

リモコン別に、省電力[切]に設定します。
*工場出荷時は、省電力[入]に設定されています。

1 運転スイッチを「ON」にする



給湯温度を表示します。
*省電力待機中で給湯温度を表示していない場合は、スイッチを押して給湯温度を表示させてください。

2 [138-T012型/T055型] 温度設定 を約5秒長押しする

[138-T013型] を約5秒長押しする

[138-T010型/T011型] 設定 を約5秒長押しする



“ピピッ”と鳴り、省電力機能を解除します。
*5分以上お湯の使用やリモコン操作がない場合でも、給湯温度表示は消えません。

設定を戻す

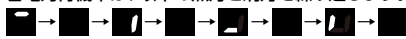
リモコン別に、省電力[入]に設定します。

1~2の操作をする



“ピッ”と鳴り、省電力機能を設定します。
*5分以上お湯の使用やリモコン操作がない場合、給湯温度表示が消えます。

省電力待機中は、以下の点灯と消灯を繰り返します。



省電力待機中に画面を表示させるには

各スイッチを押すと表示します

！お知らせ

- お湯張りスイッチは、押すと同時に動作を開始し、台所・浴室リモコンの画面も表示します。
- 呼び出しスイッチは、押すと同時に動作を開始し、浴室リモコンの画面も表示します。台所(増設)リモコンの画面はそのままです。

各スイッチを押さなくてもこんなときには表示します

- ・お湯を使用しているとき
- ・給湯温度を50℃以上に設定しているとき

お願い

- 省電力待機中に給湯・シャワーを使うときは、ご使用前にリモコンの画面を表示させ、手のひらでお湯の温度を確認してください。

メモ

設定した内容は、次回変更するまで記憶されます。運転スイッチの[ON]/[OFF]では解除できません。

冬期の凍結予防をする

お願い

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料になります。

処置 1

← 通常の寒さのとき

処置 2または3

← 外気温が-15℃を下回るとき -15℃より高くても風のある日

処置 3

← 長期間使用しないとき

処置 1

凍結予防装置による方法

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する、凍結予防装置がついています。

機器の電源プラグは抜かない、また分電盤のブレーカーを「切」にしない

電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを「切」にすると凍結予防装置がはたらきません。

- ◆凍結予防装置は、運転スイッチの[ON]/[OFF]に関係なく作動します。
- ◆配管は凍結することがあります。配管には必ず保温材を巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

処置 2

給湯栓から水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

1

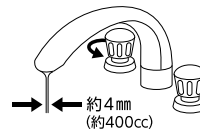
- [別売品のリモコンを使う場合]
運転スイッチを「OFF」にし、ガス栓を閉める
- [リモコンなしの場合]
電源プラグを抜く

2

給湯栓を開け、1分間に400cc 程度の水を流し続ける

流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。

*サーモスタート式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にします。



メモ

- 給湯栓から水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、リモコンの運転スイッチを「OFF」にした状態で給湯栓を開けて水を出さないようにお願いしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.4)
- サーモスタート式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご使用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

冬期の凍結予防をする



- 使用後すぐに水抜きをしない、やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
- 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを取り付け、化粧ねじを確実に締め付ける。（→P.24）



必ず行う

処置 3 機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排出し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

1 ガス栓および給水元栓を閉める（→P.10）

機器の下部にあります。

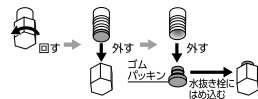
2 すべての給湯栓を全開にする

※給水元栓を開けているため、給湯栓を開けてもほとんど水は出ません。水が出続ける場合は、再度給水元栓が開めているか確認してください。

3 水抜き栓(1)(2)(3)を外す

【水抜き栓(3)の外しかた】

水抜き栓(3)は中のゴムパッキンを外して、紛失防止のために水抜き栓にはめ込みます。



※水抜き栓の位置については、□水抜き栓位置図（下記参照）をご覧ください。

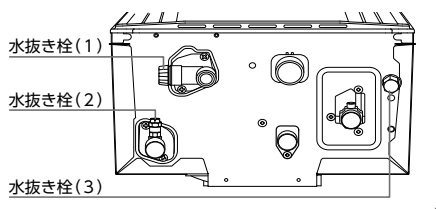
4 必ず電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを「切」にする

コンセントは機器の周辺にあります。電源プラグを抜き忘れると、機器の故障の原因になります。

5 水抜き栓からの排水を確認し、すべての水抜き栓を元に戻して、確実に閉める

□水抜き栓位置図

— 下から見た図 —



お願い

- 水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管内の水も出てきます。水が流れると不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

冬期の凍結予防をする



- 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを取り付け、化粧ねじを確実に締め付ける。（→P.24）
- 凍結による水漏れに気付いたときは、速やかに給水元栓を閉め、機器の使用を中止する。床や壁などをぬらして生じる損害は、お客様の責任となります。



必ず行う

■再使用する時

機器内の水抜き後、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

1 すべての水抜き栓および、すべての給湯栓が閉めてあることを確認する

※水抜き栓の位置については、□水抜き栓位置図（→P.21）をご覧ください。

2 給水元栓を開け（→P.10）、機器や配管から水漏れしていないことを確認する

機器の下部にあります。

3 すべての給湯栓を開けて水が出ることを確認し、給湯栓を閉める

4 ガス栓を全開にし、電源プラグ差し込む、または分電盤のブレーカーを「入」にする

ガス栓は機器の下部にあります。コンセントは機器の周辺にあります。

5 【別売品のリモコンを使う場合】 運転スイッチを「ON」にする

※リモコンなしの場合、この操作は不要です。

■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。凍結したままでは絶対に使用しないでください。解凍するまで待ち、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

1 ガス栓および給水元栓を閉める（→P.10）

機器の下部にあります。※給水元栓を閉めるのは、配管が破損していた場合の水漏れを防ぐためです。

2 【別売品のリモコンを使う場合】 運転スイッチを「OFF」にする

【リモコンなしの場合】
電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを「切」にする

3 ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認する

給水元栓は機器の下部にあります。水が出てくれば使用できます。

4 給水元栓を全開にし、ガス栓を全開にする

必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。




5 【別売品のリモコンを使う場合】 運転スイッチを「ON」にする

【リモコンなしの場合】
電源プラグを差し込む、または分電盤のブレーカーを「入」にする

お願い

- 水が流れると不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 再使用するときは、すべての水抜き栓が確実に閉めてあることを確認してください。閉めかたが不十分だったり閉め忘れたりすると、そこから水漏れします。
- 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、すべての給湯栓を開けてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことをご確認ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

警告	●機器本体のフロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。	 分解禁止
注意	●台所・増設リモコンは防水タイプではないため、水をかけない。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因になります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。 ●リモコンのお手入れには、シンナー・アセトン・ベンゼンなどの有機溶剤や洗剤（塩素系洗剤・酸性洗剤・アルカリ性洗剤）、みがき粉（研磨剤の入った洗剤）、メラミンスポンジやたわしなどを使用しない。リモコン本体の変色や変形・傷・割れなどの原因になります。 ●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉め、電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを「切」にし、機器が冷えてから行う。また、けがなどしないように、手袋などを着用し十分注意してください。	 禁止  必ず行う

■点検のポイント(月1回程度)

次の5つのポイントで点検してください。

1. 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑となります。
2. 機器および配管からガスの臭気がしませんか？
3. 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
4. 機器の外観に異常は見られませんか？
5. 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？
また、整然とされていますか？
機器のまわりが雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。



■お手入れのしかた(月1回程度)

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽くふき取ってください。それでも落ちない汚れは、台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）を少量含ませて、軽くふき取ってください。
- 台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）以外の洗剤などは、使わないでください。変色・変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ(有料)

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してお使いいただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。点検は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

お願い

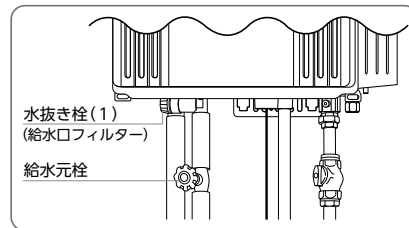
- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■給水口フィルターのお手入れ

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならなくなったりする場合があります。そのときは、次の操作で給水口フィルターを掃除してください。

- 1 給水元栓を閉める
給湯栓を開けて閉める
※圧力を逃がすためです。
- 2 水抜き栓(1)を外す
- 3 給水口フィルターを歯ブラシなどで洗う



- 4 水抜き栓(1)を元に戻す
- 5 給水元栓を全開にし、水漏れがないか確認する

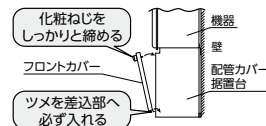
■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を全開にして、リモコンの運転スイッチを「ON」にしてから給湯栓を開け、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な音・異常な温度を感じられたときや、機器または配管から水漏れしているときは、機器の使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

配管カバー（または据置台）のフロントカバーについて

配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後は、必ず外したカバーを元のとおり取り付けてください。

- ①フロントカバー下部のツメを差込部へ確実に差し込み、外れないことを確認する。
- ②化粧ねじを緩みがないように確実に締め付ける。
※ねじに緩みがある場合、フロントカバーが外れるおそれがあります。



お願い

- 水抜き栓(1) (給水口フィルター) を外すと水が出ます。水が流れると不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 再使用するときは、水抜き栓(1) (給水口フィルター) を元のとおり確実に閉めてください。閉めかたが不十分だったり閉め忘れたりすると、そこから水漏れします。
- 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを取り外した場合、作業終了には必ず外したカバーを取り付け、化粧ねじを確実に締め付けてください。
※ねじに緩みがある場合、フロントカバーが外れるおそれがあります。ねじに緩みがないか点検してください。

故障かな?と思ったら

給湯栓やシャワーから出るお湯	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
給湯栓を絞らずで水になった	給湯栓から出るお湯の量をかなり少なくすると、機器が燃焼を止め、水になります。給湯栓をもっと開けてください。
お湯の温度が安定しない	機器の故障が考えられます。お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
給湯栓を開けてもお湯が出ない 給湯栓を開けてもお湯にならない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか。(→P.10) 断水していませんか。断水中は機器を使用できません。(→P.5) 給湯栓は十分に開いていますか。少ないとお湯にならない場合があります。 給水口フィルターが詰まっていますか。 給水口フィルターの掃除をしてください。(→P.24) ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか。 LPガスの場合、ガスがなくなっていますか。 リモコンの 運転スイッチ が[ON]になっていますか。 凍結していませんか。(→P.22) 停電していませんか。(→P.4) 機器の電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。(→P.10)
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない 高温のお湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか。(→P.10) 給湯温度の設定は適切ですか。(→P.11) 夏場など、水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
給湯温度の変更ができない	操作しているリモコンに優先ランプ[緑]が点灯していますか。(→P.12) [138-T010型/T011型の場合] オート止水機能を使ってお湯張りをしていませんか。(→P.15)
給湯栓から出るお湯の量が少ない 給湯栓から出るお湯の量が増える	お湯を使用中に他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。 湯温を安定させるために自動的に湯量を調整しています。すぐに湯量は安定します。 給湯栓の種類によっては、はじめに多く出てその後安定するなど、出湯量が増えるものがあります。
お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。汚濁とは違い無害なもので、異常ではありません。

機器	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
排気口から白い湯気が出る	冬場など外気温が低いときは、排気ガスが外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。異常ではありません。この機器は熱効率が高いため、白い湯気が出やすくなっています。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
運転中に異常音がする	点検を依頼してください。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉まっていないと水漏れします。 給湯側の水抜き栓は過圧防止安全装置をかねていますので、圧力を逃がすためにお湯(水)が出る場合があります。
雷が鳴ったあと機器が作動しない	落雷の際に、機器内の漏電安全装置が作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度差し直す、または分電盤のブレーカーを入れ直してください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

故障かな?と思ったら

リモコン	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
運転スイッチを押しても[ON]にならない 画面が表示しない	停電していませんか。(→P.4) 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。(→P.10)
138-T010型/T011型リモコンをご利用の場合	
音声ガイドが出ない	音量の設定が「0」になっていませんか。設定を確認してください。(→P.17)
音が小さい	音量の設定は適切ですか。(→P.17)
音がかもる	スピーカー部分にお湯(水)がかかっていますか。

その他	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
浴槽・洗面台が青く見える	湯あかが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがありますが、健康上問題はありません。浴室や洗面台の掃除をこまめに行うことで着色しにくくなります。

■アラーム表示について(リモコンに表示されます)

機器に不具合が生じると、その原因をリモコンにアラーム番号で表示または点滅してお知らせします。アラーム番号が表示・点滅したときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。その際は、表示されているアラーム番号もお知らせください。(例:以下の図のようにアラーム番号が点滅します)



お客さまで対処が可能なもの		
アラーム番号	原因	処置
011	給湯を60分以上連続で使用した	給湯栓を閉める。運転スイッチを[OFF]にし、5秒以上経過後[ON]にする。
111	点火不良	
121	失火	ガス栓が全開になっていることを確認する。 運転スイッチを[OFF]にし、5秒以上経過後[ON]にする。 ※給湯栓を閉めることにより、アラームが解除される場合があります。
291	中和器の詰まり	ドレン排出配管が凍結したままになっている可能性があります。(→P.22) ドレン排出配管が凍結していない場合は、修理を依頼してください。
CL	オート止水機能の解除忘れ	給湯栓を閉めて、お湯張りスイッチを押す。


◇処置をしてもなお、アラーム番号が表示されるときや上記以外のアラーム番号が表示されたとき、その他わからないときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスまでお問い合わせください。

以下の場合には、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスまでご連絡ください												
アラーム番号	原因	状態										
101	燃焼に異常が生じた	経年的な使用に伴う給気部へのほこりなどの詰まりにより燃焼に異常が生じ、良好な燃焼を維持できず能力を低下しました。 機器は使用できますが、安全のため修理を依頼してください。 そのまま使用すると「991」となり、機器の使用ができなくなります。										
921	中和器異常	機器はしばらく使用できます(アラーム番号は消えません)が、中和器の交換が必要のため、早めに修理を依頼してください。										
931	中和器寿命	機器の使用はできません。中和器の交換が必要のため、修理を依頼してください。										
991	燃焼に異常が生じた	機器の使用はできません。修理を依頼してください。										
その他のエラー番号												
031	311	321	391	510	511	611	701	711	721	741	751	901

故障かな?と思ったら「アラーム表示」なら「リモコン」に表示されます

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.25～26)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合にはご自身で修理なさらないで、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印など)
 - (2) 型番 (例)133-T030型
ガスの種類 (例)13A

※型番・ガスの種類は機器本体前面の銘板をご覧ください。(→P.1)
- (3) 現象
故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく。
- (4) 訪問ご希望日

保証について

- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証期間・保証内容などをご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されると、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

B.L 認定品について

- B.L 認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付き」です。
- 一般財団法人ペーターリビングお客様相談窓口の電話番号は[03-5211-0680]です。

冬期の入浴について

- 冬期など浴室・脱衣室と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響(ヒートショック)によって、特に高齢者は入浴時の事故につながることがあります。
入浴時に暖房機器で浴室と脱衣室を暖めるなどしてください。
※浴室を暖めるには、シャワーでお湯を流す方法や、浴槽にふたをしないで湯を溜める方法もあります。
- 消費者庁公表の入浴に関する周知事項も併せてご確認ください。
「冬季に多発する高齢者の入浴中の事故に御注意ください!」
(消費者庁ホームページ:2016年1月20日公表)

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店または、転居先のガス会社にご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わりやすいような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。ただし、保有期間経過後でもあっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

アフターサービスなどについてわからないとき

- お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。(→P.21)
※機器の故障や凍結および万が一のガス漏れを防止するため。
 - (1) ガス栓を閉めます。
 - (2) 給水元栓を閉めます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。
 - (4) 電源プラグを抜きます。

「あんしん点検」のおすすめ

本製品は、ご使用開始から10年前後をめぐりに「あんしん点検」(有料・任意点検)をお受けいただくことをおすすめいたします。

□あんしん点検について

【点検の内容について】

- ・あんしん点検は、お客さまの任意で受けていただく有料の点検です。(法定点検ではありません)
- ・あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません。
- ・点検の実施は、大阪ガスまたは大阪ガスが委託した事業者が行います。
- ・点検の内容および点検基準は、当社で設定しています。
- ・製品の設置状況の確認、作動確認、内部の漏れ、詰まり、変色、性能確認など
- ・点検の結果は、「点検作業票」にてお知らせします。
点検の結果、何らかの整備(修理・部品の交換など)が必要な場合には、整備内容についてご提案させていただきます、お客さまにご了解をいただいたうえでを行います。

【点検料金および点検の依頼先について】

- ・点検は有料で実施させていただきます。また点検の結果、整備を実施する場合は、別途整備費が発生いたします。
なお、あんしん点検の内容や料金などにつきましては、下記のアドレスからご覧いただけます。
<https://www.osakagas.co.jp/>
インターネットでご確認できない場合は、別紙記載の「大阪ガスのお問い合わせ先」にご連絡ください。

【点検を依頼されるとき】

- ・点検のお申し込みは販売店または、もよりの大阪ガスにご依頼ください。

□設計上の標準使用期間について

本製品は、設計上の標準使用期間*を10年と算定しておりますので、ご使用開始から10年前後をめぐりに「あんしん点検」をお受けいただくことをおすすめいたします。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください(無料修理保証期間は保証書を参照願います)。

仕様一覧

〔仕様表〕

項 目	内 容		
型 番	133-T030型	133-T032型	133-T035型
型 式 名	GS-H2402W	GS-H2402T	GS-H2400B
外 形 寸 法 (mm)	幅336×奥行200×高さ519		
質 量 (kg)	18(満水時 19)		18.5(満水時 19.5)
種 給 湯 方 式	先止め式		
類 設 置 方 式	屋外壁掛設置形 PS 標準設置形	PS 扉内設置形 (前方排気延長)	PS 扉内設置形 (後方排気延長)
点 火 方 式	AC100V 連続放電式(ダイレクト着火)		
水 使 用 水 圧	0.1~0.75MPa (1.0~7.5kgf/cm ²)		
圧 最 低 作 動 水 圧	10kPa (0.1kgf/cm ²)		
接 ガ ス	給 水	15A (R1/2) オネジ	
	給 湯	20A (R3/4) オネジ	
	ド レ ン 接 続 口	15A (R1/2) オネジ	
電 源	AC100V (50/60Hz)		
リ モ コ ン 側	24V 以下		
消 待 機 時	0.8W (台所リモコン取り付け時)		
使 用 時	47W	71W	65W
凍 結 予 防 時	112W		
電 源 コ ー ド	VCT (2心) 機外長 2m		
安 全 装 置	空だき防止装置(水量センサ) 空だき安全装置(ハイリミットスイッチ) ファン回転検知装置(回転数検知方式) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 過電流防止装置(電流ヒューズ) 立消え安全装置(フレームロッド) 漏電安全装置(漏電スイッチ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 凍結予防装置(ヒータ) 誘導電保護装置(サージアブソーバ)		

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ	ガス消費量 kW {kcal/h}	出湯能力(最大時) (L/min)		ガス接続
		水温+25°C上昇	水温+40°C上昇	
都市ガス 13A	46.5{40,000}	24.0	15.0	15A (R1/2)
LPGガス	46.5{3,32kg/h}	24.0	15.0	

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧0.2MPa{2.0kgf/cm²}のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。